

第1章 平成13年度山口大学構内遺跡調査の概要

山口大学の関連諸施設は、山口市(吉田・白石構内)、宇部市(小串・常盤構内)、光市(光構内)の県内各市に分散している。各構内には、縄文時代後・晩期から江戸時代にかけての複合集落遺跡として著名な吉田構内をはじめとして、旧石器時代の遺物が出土する小串構内など、周知の遺跡が埋存している。山口大学埋蔵文化財資料館は学内共同利用施設として、これら各構内において現状変更を伴う諸工事に対し、埋蔵文化財保護の立場から調査・研究を行っている。埋蔵文化財の調査を必要とする場合は、工事地域周辺での既往の調査結果や工事の内容、埋蔵文化財に対する影響の度合いなどを勘案し、埋蔵文化財資料館運営委員会の議を経て、事前・試掘・立会の三種の方法によって調査を実施している。

平成13年度は事前調査は実施しなかったが、試掘調査3件、立会調査9件、計12件の調査を実施した。

Tab.1 平成13年度山口大学構内遺跡調査一覧表

調査区分	調査名	構内地区	構内地区割	面積 (㎡)	調査期間	調査担当	挿図番号
試掘	経済学部校舎改修(プレハブ校舎新営)	吉田	K-21	40	12月4・5日～10日～28日	村田	Fig.30 No.234
	医学部附属病院立体駐車場新営	小串		229	2月26日～3月25日 4月1日～15日	村田	Fig.31 No.34
	インキュベーションセンター新営	常盤		60	11月12・20日～22日	村田	Fig.32 No.20
立会	九田川河川局部改修(平成12年度工事追加)	吉田	K-9, L-8・9	42	5月8・9日 6月1日	村田	Fig.30 No.235
	総合研究棟(新営屋外配管布設)	吉田	P・Q-18	60	5月16・22・25日, 6月6日	田畑	Fig.30 No.236
	理学部改修1期(屋外配管布設)	吉田	M-18～20, N-19～21, O-19	76	7月5・17日, 8月24・27日, 9月10・18・19日 10月21日	村田	Fig.30 No.237
	九田川河川局部改修	吉田	L-8	96	8月17・21日, 9月25日, 10月1・2・23・31日 11月16日	村田	Fig.30 No.238
会	基幹環境整備(外灯新設)	吉田	I-14・15, J・L-15, M-15, N-16, Q-17・19, R-17・19, S・T・U・V-17	15.4	12月14・17・19・20日, 2月27・28日	田畑	Fig.30 No.239
	理学部改修2期(ポンプ室配管布設)	吉田	M-19	11	12月21日	田畑	Fig.30 No.240
	理学部改修2期(自転車置場・渡り廊下屋根新設)	吉田	M・N-20	196	12月25日, 1月7日	田畑	Fig.30 No.241
	第1学生食堂トイレ改修	吉田	I・J-19	6	2月18日	村田	Fig.30 No.242
	経済学部校舎改修(プレハブ校舎配管布設)	吉田	L-21	10	2月21日	村田	Fig.30 No.243

吉田構内の調査 (本部、人文・教育・経済・理・農の各学部：山口市大字吉田 1677-1、教育学部附属養護学校：同吉田 3003 所在)

試掘調査 1 件、立会調査 9 件を実施した。

吉田構内では、試掘調査 1 件、立会調査 9 件を行った。経済学部校舎改修（プレハブ校舎新営）に伴う試掘調査では河川跡を検出し、縄文土器、土師器、須恵器片が少量出土した。調査区周辺では既往の調査でこれと同一もしくは一連とみられる河川が検出されている

が、遺物がほとんど出土しておらず、時期決定が困難であった。このため、今回の調査成果は河川の時期をとらえる上で貴重である。ただし、土層では切り合いが複数認められることから、慎重な検討が求められる。また、少量ではあるが縄文土器が出土したことは、調査区周辺に集落跡が存在したことを想起させるものであり、今後の調査が期待される。

立会調査では、総合研究棟新営（屋外配管布設）工事に伴う立会調査で、河川跡及び遺物包含層の可能性のある土層を検出したが、遺物は出土しなかった。基幹環境整備（外灯新設）工事に伴う立会調査は吉田構内の広域で実施した。調査の結果、バス停付近の A 地点では河川埋土、本部 1 号館南側の G 地点では河川埋土の可能性のある土層、埋蔵文化財資料館敷地南西隅の I 地点では河川埋土もしくは遺物包含層の可能性のある土層、R I 実験研究施設から東門に至る道路沿いの J 地点では遺物包含層の可能性のある土層、K・L・M 地点では河川埋土を検出した。調査面積が狭小であったため、



Fig.1 山口大学吉田・白石構内位置図



Fig.2 山口大学小串・常盤構内位置図

遺物は出土しなかったが、上記地点周辺では今後の埋蔵文化財の保護に注意が必要である。理学部改修1期・2期工事に伴う立会調査は、理学部周辺の広範囲に渡って実施したが、顕著な遺構・遺物は確認できず、既往の調査結果同様、埋蔵文化財の分布が希薄な地域であることを裏付ける結果となった。その他の立会調査では、遺構・遺物は検出できなかった。

白石構内の調査（教育学部附属山口幼稚園：山口市白石3丁目1-2、同小学校：白石3丁目1-1、同山口中学校：白石1丁目9-1所在）

平成13年度は、当該地で掘削を伴う工事は計画されなかった。

小串構内の調査（医学部、同附属病院、医療技術短期大学部：宇部市南小串1丁目1-1）

小串構内では、試掘調査1件を実施した。医学部附属病院立体駐車場新営に伴う試掘調査では、現地表下1.6m以下の暗灰色砂、暗灰色粗砂から縄文時代～中世の土器が出土した。これらの遺物は近年の調査成果からも、病院敷地の北側丘陵地から流れ込んだものと考えられる。構内北部の広範囲で、これまで遺物の出土が確認されていた水田床土層より下の土層に遺物が含まれていることが明らかとなり、今後小串構内で地下掘削を伴う施設整備に際しては、より慎重に対応する必要が生じた。

常盤構内の調査（工学部：宇部市常盤台2丁目16-1、尾山宿舍：同上野中町所在）

試掘調査1件を実施した。インキュベーションセンター新営に伴う試掘調査では、削平が著しく、顕著な遺構・遺物は検出できなかった。

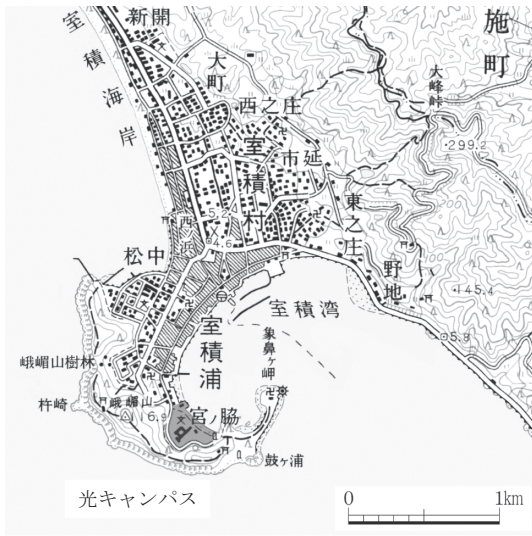


Fig.3 山口大学光構内位置図

光構内の調査 (教育学部附属光小学校、同光中

学校 : 光市室積 8 丁目 4 番 1 号所在

平成 13 年度は、当該地で掘削を伴う工事は計画されなかった。

(田畑)



Fig.30 山口大学吉田構内地区割および主な調査区位置図（昭和41年度～平成14年度）



Fig.31 山口大学小串構内調査区位置図（昭和58年度～平成14年度）



Fig.32 山口大学常盤構内調査区位置図（昭和 58 年度～平成 14 年度）

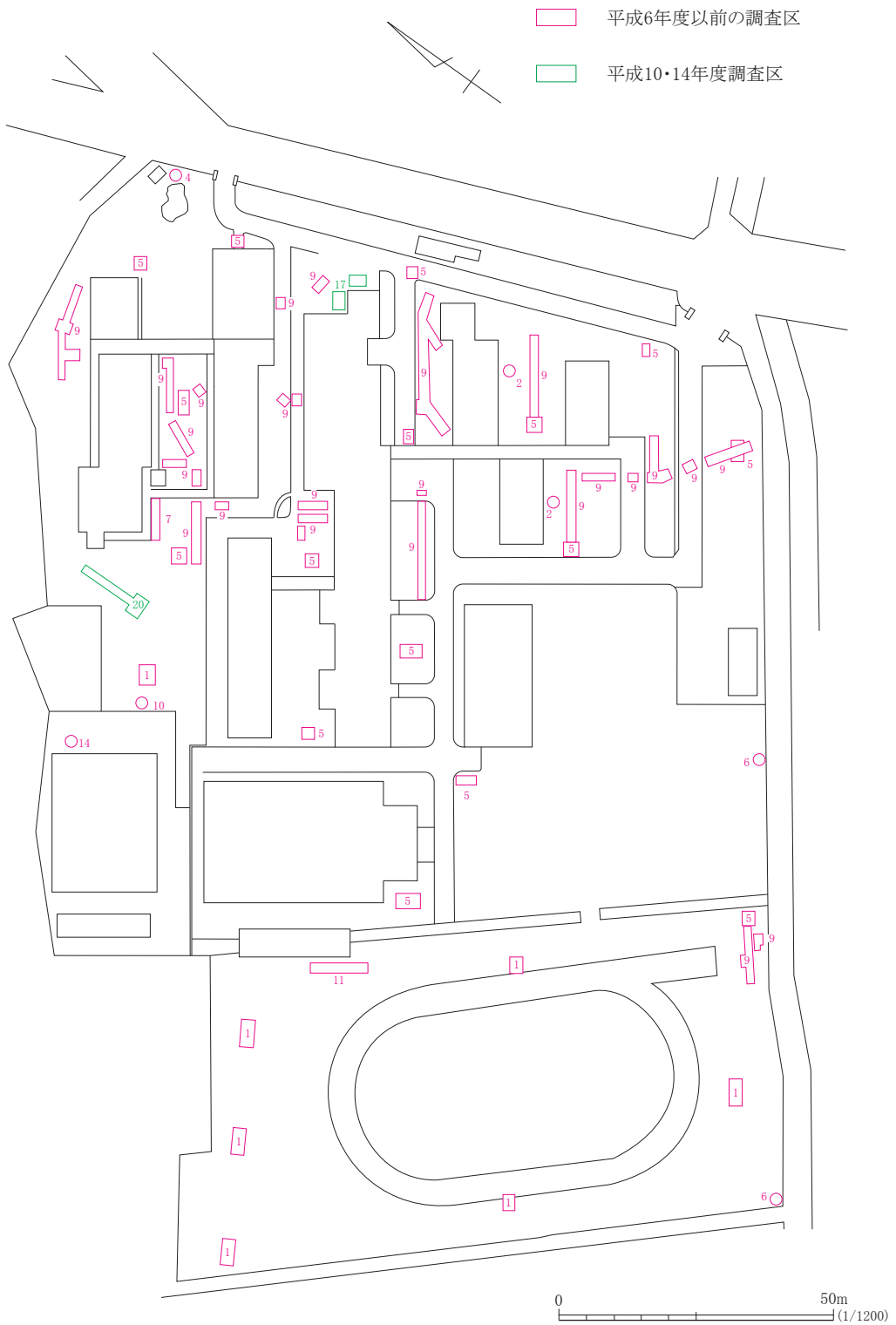


Fig.33 山口大学白石構内（幼稚園・小学校）調査区位置図（昭和58年度～平成14年度）

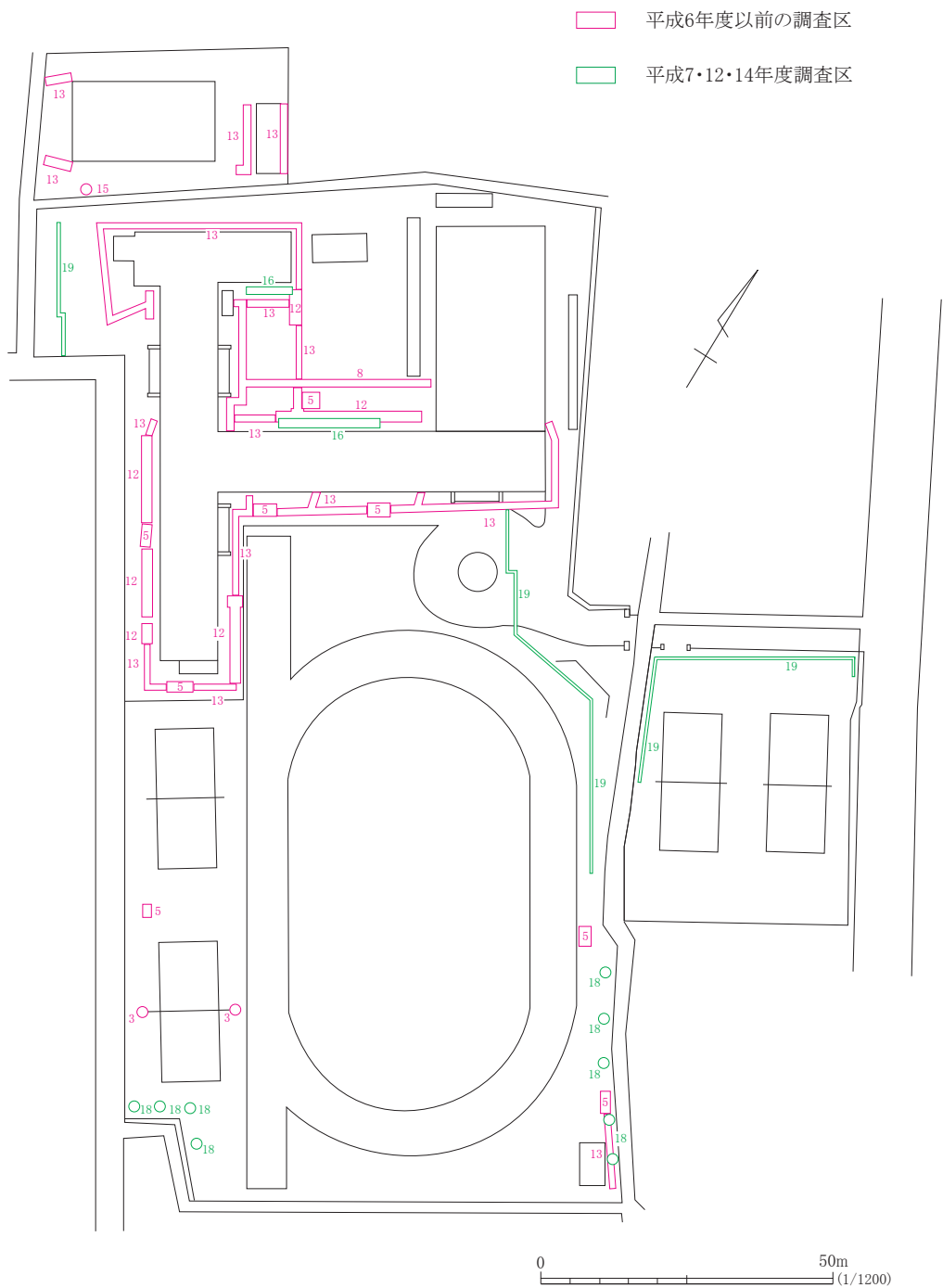


Fig.34 山口大学白石構内（中学校）調査区位置図（昭和60年度～平成14年度）

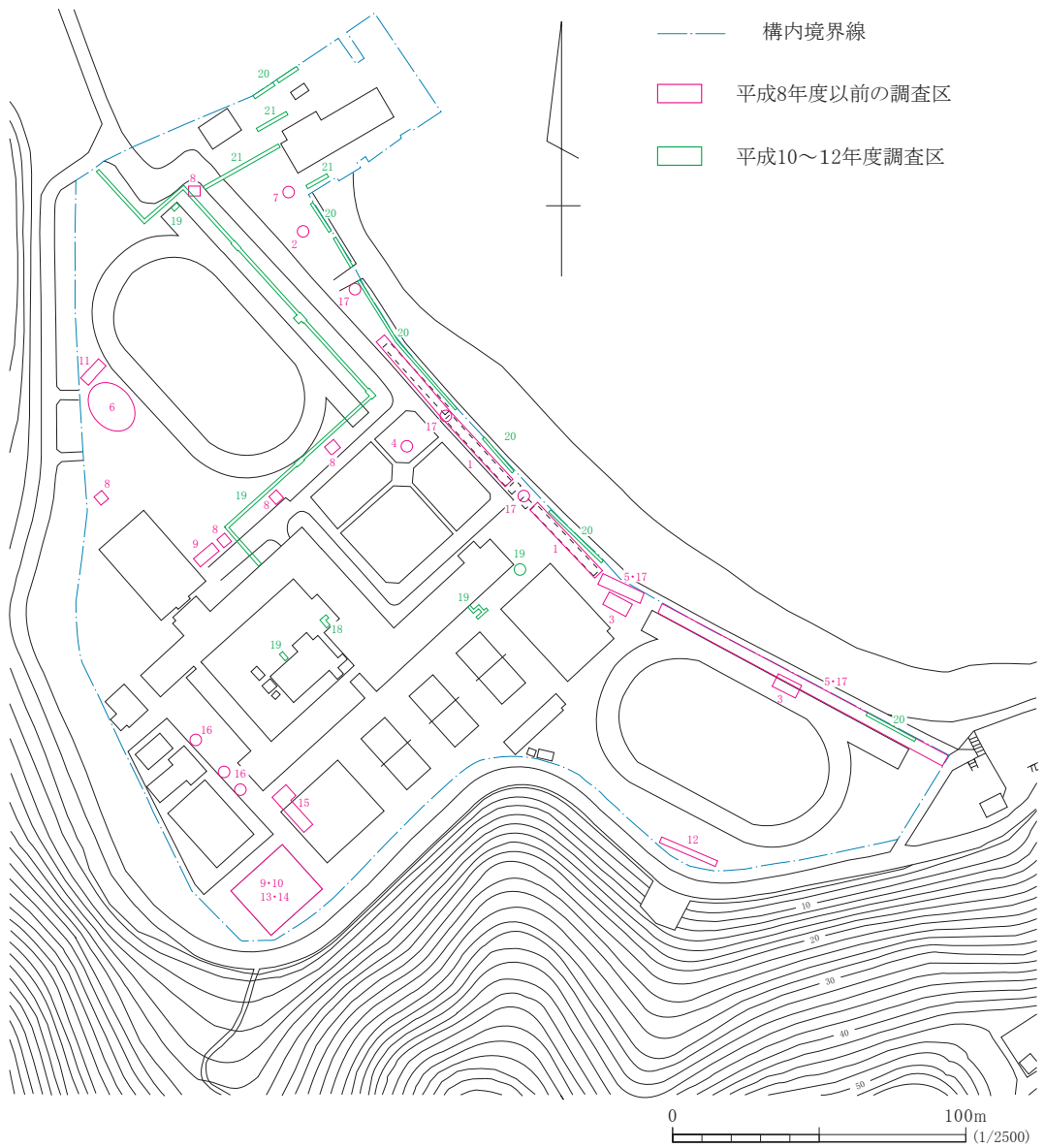


Fig.35 山口大学光構内調査区位置図（昭和58年度～平成12年度）